

三春町の枝垂れ桜(4月山行)

2013年4月14日 リーダー:伊藤松雄



滝桜を振り返りかえって

3月31日、金冠山山行車中のこと。「私の感では、来月4月14日に、三春の滝桜が満開になると思います。花見山は来年にしたいのですが」と提案し、了承された。「みなさん、みんな強がりいって大丈夫…? 滝桜が咲かなかつたらどうするの…!」と、いわれ、不安になった。確かにこの3年間、滝桜が満開になったのは4月下旬。しかも気象庁の開花予想は4月中旬とある。ネットで滝桜の様子を毎日うかがった(小心者なので、心臓はドキドキ)。

それから2週間後の4月14日。天気は久しぶりに晴れ、今日こそ満開日と期待していた。が、「あれっ、いつも早めに来ている〇さんがいない」〇さん宅に電話した。「もう出て行きましたよ」。5分待った。〇さんから「いま起きたので、キャンセルしてください」。

総勢30人で春日部を出立した。バス係は市川さん、会計をユリ子さんにお願いして、東北道を一路北上。桜前線は福島県にたつっていた。大きなすそ野を広げる安達太良山には雪が残り、白と桜色のコントラストが車窓に大きく映しだされる。

思えば2年前の4月、東日本大震災のボランティアに向かうときも同じ光景だった。いまでは、大津波にくじけず、復興に立ち上がりようとする懸命になっている一方、ここ福島では、原発事故で避難を強いられ、いつ故郷に帰れるのかと、目どもたたず

に生きている人々がいる。

「智恵子はほんとうの空が見たいといふ。智恵子は遠くを見ながら言ふ。阿多多羅山の山の上に毎日出てゐる青い空が、智恵子のほんとうの空だといふ」

福島に本当の青い空がもどってほしい、と願うばかりである。被災者の方々は「私たちのことを忘れないでほしい」と誰もが語る。これからも被災者に思いを寄せて、行動しようとおもう。

バスは阿武隈山系のふところにわけ行った。民家の庭先には鯉のぼりが泳ぎ、みちのくに遅い春を告げている。梅、桃、桜がいっせいに咲きほころぶから三春。三春の町中に桜は1万本以上。そのうち2千本が「日本さくらの名所100選」に指定された「三春のシダレ桜」。バスがついた駐車場には、ピンク色の半纏をまとった案内人の笑顔がはじけ、町中、梅・桃・桜と、この日の三春は花々が咲きほころぶ桃源郷。

次ページへ続く

さあーっ!お花見パレードのはじまりだ。名づけて「小鎌倉のシダレ桜ツアー」。丘陵地帯を歩き、神社仏閣のシダレ桜を愛でて、お花見宴会をする。

コース → 三春観光案内所 … 河野弘中銅像前

… 最初から急な登り・桜が見事。… 「あつ吉野山みたい」と、吉野の桜を見た方が叫んだ。吉野にくらべれば、スケールは小さいが、みちのくの吉野山と呼ぶにふさわしく、そして、のどかだ。… **福聚寺**（住職は玄侑宗久「中陰の花」2001年125回・芥川賞受賞）私は福聚寺に咲くシダレ桜がもっとも好き。… **御免町** 武家屋敷が点在。… **法華寺** 青空に映えるシダレ桜の色合いに酔いしれる。… **八幡神社** 後継ぎ桜の風格に圧倒されて感動… **高乾（こうけい）院** 藩主秋田公の墓所に咲くシダレ桜の絶妙なバランスにシビレる。

… **龍隱（りゅうおう）院** 重厚な本堂に赤いオベベの6地蔵構図は、三春仏閣の代表格である。… **水戸屋酒店** 「地震でここにある全てのモノが倒れ、壊れて、もうおしまいと思ったのよ。そしたら、おばちゃんガンバレ!といって、高校生たちが助けてくれたの」買い物の計算より話が弾み、買ったビールが燭になるほど。が、旅は他火のこと、他火とは地元の方とのふれあいにある。見て、食べて、飲んで、温泉に入る、だけではなく、地元の方との会話にこそ、旅のだいご味がある。そういう意味で水戸屋酒店を訪ね、震災にメゲない（負けない）鴨原のおがっちゃんに会ったのだ。… **県立田村高校** 「コンニチワー!」ソフトボールの手を休め、大きな声で迎えてくれる女子高生。「気持ちがいいね~」と、言葉がとびかう。さすが田部井淳子さんの後輩だ… 「あれっ 道をまちがえたかな。でもこの風景を見よ!あれが安達太良山、あれが阿武隈川（ありや、見えね）… **光岩寺** 「この急坂の上に何があるの」 桜だぢやい。… **城山公園** シダレ桜の下で、飲む泡に浮かれて一句 「願はくは 桜の下にて 春死なむ」



まだ、いきでー!）… 「旗持ちさんは誰?」「私ですが…」「お茶っこ入れ、やって!」えーっ?冗談はヨシコさんにして!

ヨシコさんならぬ、知名さんが入れてくれる。他のメンバーにも（スママセン）。ここのお城坂シダレ桜も見事、三春藩にアップ。… **三春観光案内所** → 滝桜にむかう車窓から見る常楽院のシダレ桜は、夜ライトアップする名桜である（夜まで働かされて、かわいそう）。

→ **滝桜** エドヒガン系ベニシダレザクラ。1922年10月、国の天然記念物。樹高13.5メートル、枝張り東西22メートル、南北18メートル。山梨県の山高神代桜、岐阜県の根尾谷淡墨桜と滝桜が、日本三大桜と呼ばれるが、滝桜が一番美しいと思う。また大地震にも耐え、春夏秋冬、それぞれに美しい滝桜は、被災者の心を癒し「奇跡の一本松」のように、復興のシンボルとなっている。

さらにはおととい（28日）、ブータン国の首都ティンブー中心部にある恩賜庭園に、滝桜の「子孫木」の苗木が植えられた。あのブータン国王夫妻が、2011年11月に、東日本大震災の被災地支援の一環として、福島県相馬市の桜丘小学校を訪問したほか、原釜尾浜地区の沿岸部で犠牲者に、ただひたすら祈りをささげる姿に、誰もが感銘をうけたに違いない。そのお礼として滝桜がブータンに渡ったのである。武器・戦争を放棄して「世界一幸福な国」にふさわしい桜、いつまでも咲き誇るだろう滝桜に、カンペーイ!!

その桜にふさわしいのが遊友の仲間。「被災地に少しでもお金」と、水戸屋のおがっちゃんのところで飲食物を購入してくれた。また被災地支援の早池峰神楽に、23人の方たちが観賞してくださるとは、ありがたいこと。改めてお礼を申し上げて「どんどん晴れ」



4月バスハイキング「三春の滝桜」に参加して／戸邊 茂雄

4月14日(日)、「三春の滝桜」を見に福島県田村郡三春町へ行きました。昨年に引き続き2年連続です。昨年は4月15日でしたが、まだ一輪も咲いておりませんでした。今回は8分咲き程度ということなので、昨年のリベンジです。

朝5時45分に千間台で13人、6時に春日部で16人の合計29人が31人乗りのバスに乗車して出発しました。実は30人の予定でしたが、小倉さんがバスの出発時刻に間に合わず29人になってしまいました。運転手は館山さんです。10分程度遅れて出発した車は6時40分に久喜ICから東北自動車道に入り、9時15分に郡山JCTから磐越自動車道へ、9時20分に郡山東で降りて三春町へと向かいました。そして9時35分に三春町役場駐車場に到着です。

今回は三春まちめぐりをしてから最後に滝桜の見学です。9時40分まちめぐり開始です。駐車場の目の前に河野弘中の銅像があります。まずはそこから見学開始です。急な上り坂を上がると歴史民俗資料館があります。昨年入館しましたので今回は外の桜だけを見ながら通過しました。桜を見ながら進んでゆくと次は福聚寺です。立派な福聚寺桜がありました。更に進んでゆくと次は法華寺です。ここにも立派な法華寺桜がありました。続いて八幡神社の後継ぎ桜、秋田氏歴代藩主の墓がある高乾院の高乾院桜、秋田氏尊靈塔がある龍隱寺の龍隱寺桜を見て回りました。その後、酒屋でビール等を買い求め、宴会場所の城山公園に向かいました。途中には県立田村高校があり、グラウンドで女子がソフトボールの練習をしていて、大きな声で挨拶してくれました。その後、道を間違えるハプニングもありましたが、光岩寺の桜を見て、城山公園に到着です。酒屋で買ったビールが温くなってしましましたが、シートを広げて宴会です。田中

さんから差し入れの越乃寒梅や地元の地酒をたくさん頂きました。お酒ばかり飲んでいて、朝買っていたおにぎりは1つも食べないで持ち帰りになりました。出発地点の町役場駐車場には14時15分に戻りました。そしてこの後バスに乗り、滝桜の場所に向かいました。「三春の滝桜」は推定樹齢が1000年以上、高さ13.5m、根回り11.3mのベニシダレザクラで、薄紅色の小さな花を無数に咲かせ、その様が流れ落ちる滝のように見えることから「滝桜」と呼ばれている天然記念物に指定されている名木です。今年はほぼ満開の滝桜を見ることができました。たくさんの桜の名木を見学した後は再びバスの中で飲み続け、無事にせんげん台に着き、12名でいつもの反省会です。ここでもビールをジョッキ2杯頂いて22時帰宅となりました。今回は運動にはなっていないのに非常に疲れました。伊藤リーダーはじめ皆様、今回も楽しいバスハイクができました。ありがとうございました。





●5月山行の案内

鹿俣山(1637m)群馬県沼田市

ブナ林が超見事!! ミズバショウが見られる

●5月26日 千間台6時発→春日部6時15分発→(関越道)→沼田IC→(国道120号)→(県道266号)→センターハウス(駐車場)…(探鳥コース・30分)…ブナ平…(80分)…鹿俣山山頂…(120分)…玉原湿原…センターハウス→(県道266号)→(国道291号)スパリゾート ゆにーいく(600円タオル付)→(国道291号)→(国道120号)→沼田IC

●アイゼン・ストック持参 登山道がある玉原スキー場は雪がたっぷり。まだスキー場がオープン中。ゲレンデは急なので、アイゼン・ストックは必ず持参してください。そのために、もしかして湿原の妖精・ミズバショウが見られるかもしれません(例年だと5月上旬が見頃)「ブナ林は白神山地」と言う方があります。しかし高い交通費を払わずとも、見事なブナ林があるのが鹿俣山です。山全体が新緑、残雪におおわれて、すばらしい色合いで。山頂からは、武尊山の剣ヶ峰が間近に見え大迫力。さらには、赤城、子持、榛名、上州三峰。そして白銀に輝く谷川連峰などが望める、超豪華な山行、こんな素敵なかいなんて、もったい、なあ~い。

【日 時】5月26日(日)

【集 合】せんげん台駅前6時00分／春日部駅前6時15分、

【持 ち 物】アイゼン、ストック、入浴セット、昼食 etc

【入 浴】ゆにーいく(600円)予定

【申 込み】5月12日現在、4名の空きがあります。

希望の方は電話 090-5410-8376(伊藤まで)



7月山行(八ヶ岳)について

●ロープの使用について

サポートする側も、される側も不慣れな状況では、かえって危険と判断され、基本使用しない事にします。

従いまして口頭でお伝えしていました、カラビナ・シューリング・ハーネス等の購入は不要とします。

多少緊張を余儀なくされる場所の通過や下降もありますが、基本の「3点確保」を守って、落ち着いて行動すれば問題ありません。

●参加者の確認

5月現在、下記 17 名のエントリーとなっていますが最終確認をします。

不参加の方は今月 26 日(5月山行日)までに豊島までお申し出下さい。

(参加の方は不要)⇒携帯 : 080-3549-1120

参加予定者

伊藤ま 品川 佐藤き 豊島 藤井 小倉 市川 伊藤ゆ 梅沢 岡本や 北山 鳴原 清水 知名 戸邊 松浦 松島